

2018年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2018年2月1日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2018年2月1日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2018年3月期第3四半期の決算及び事業の概況
- II .2018年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2018年3月期第3四半期の決算及び事業の概況





2018年3月期第3四半期 連結決算ハイライト

2018年3月期第3四半期(2017/10-12) 連結決算の総括とポイント

- ① FX口座数は、外国為替相場低迷の影響もあり前四半期末比3,872口座増加と減速。預り証拠金は、金融法人からの預りが大きく減少し、全体では5.2%の減少。

総口座数	309,873口座	2018/3期2Q末比	1.3%増
預り証拠金	61,378百万円	2018/3期2Q末比	5.1%減

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率は低迷の影響を大きく受けたものの、顧客取引促進施策の効果等により減少幅は前四半期比8.2%にとどまる。

10-12月取引高	3,201億通貨単位	2017/7-9月比	8.2%減
-----------	------------	------------	-------

※取引高にはCFDIに関する数値を米ドルに換算した上で含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高減少にかかわらずトレーディング損益が前四半期比増加となり、前四半期比9.8%増加の1,573百万円に。

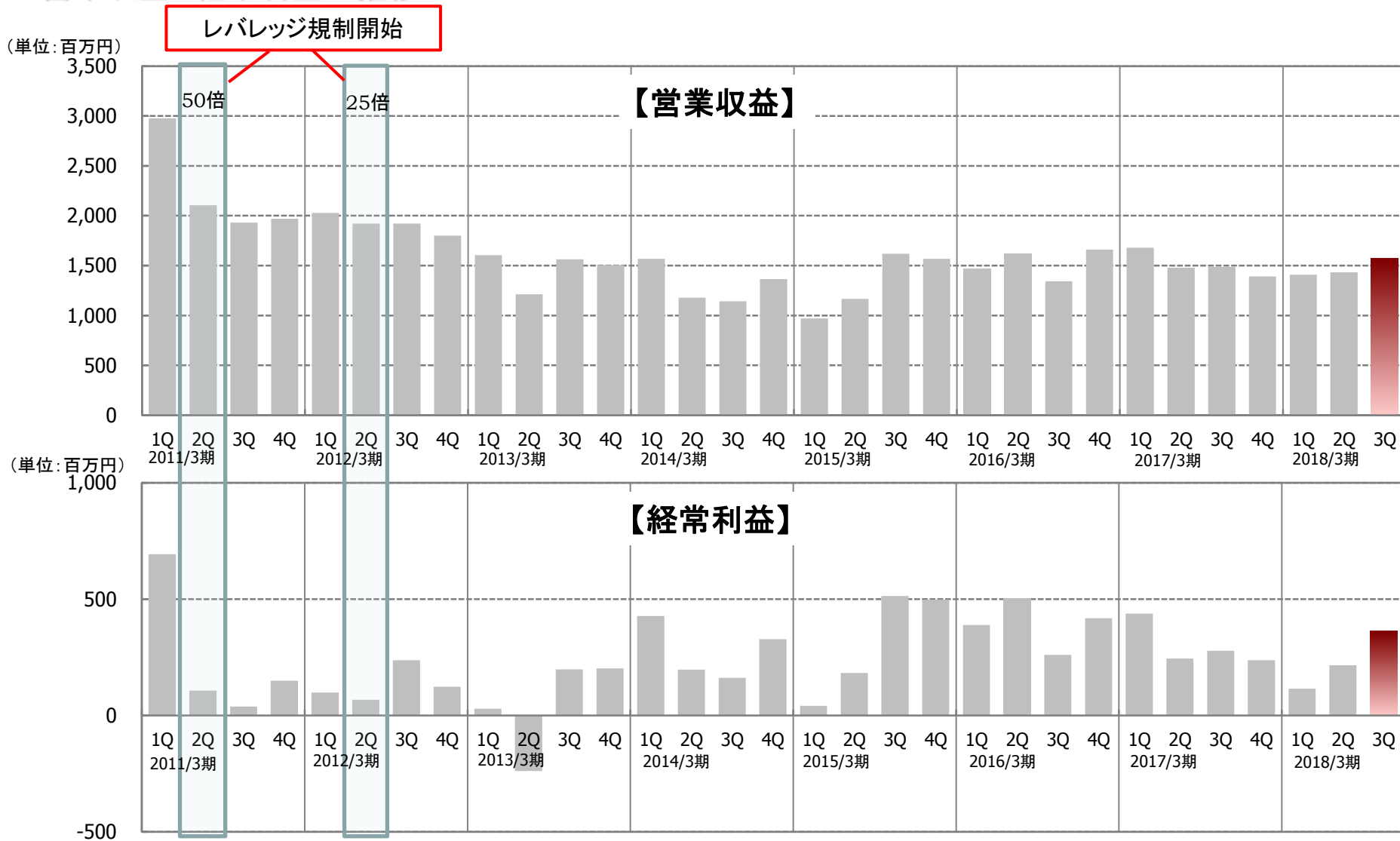
- ④ 損益は、営業収益の増加に加え、販売費・一般管理費が僅かながらも減少した結果前四半期比増益となり、経常利益は前四半期比68.7%増加の362百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前四半期比71.7%増加の247百万円に。



レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

■ 営業収益と経常利益の推移





2018年3月期第3四半期 決算概況と影響ファクター

	2018/3期 2Q 【2017/7 ~ 2017/9】	2018/3期 3Q 【2017/10 ~ 2017/12】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	3,488億通貨単位	3,201億通貨単位	▲8.2%
営業収益	1,433百万円	1,573百万円	9.8%
純営業収益	1,374百万円	1,515百万円	10.3%
経常利益	215百万円	362百万円	68.7%

【損益影響ファクター】

前四半期比

FX取引高



FX収益性

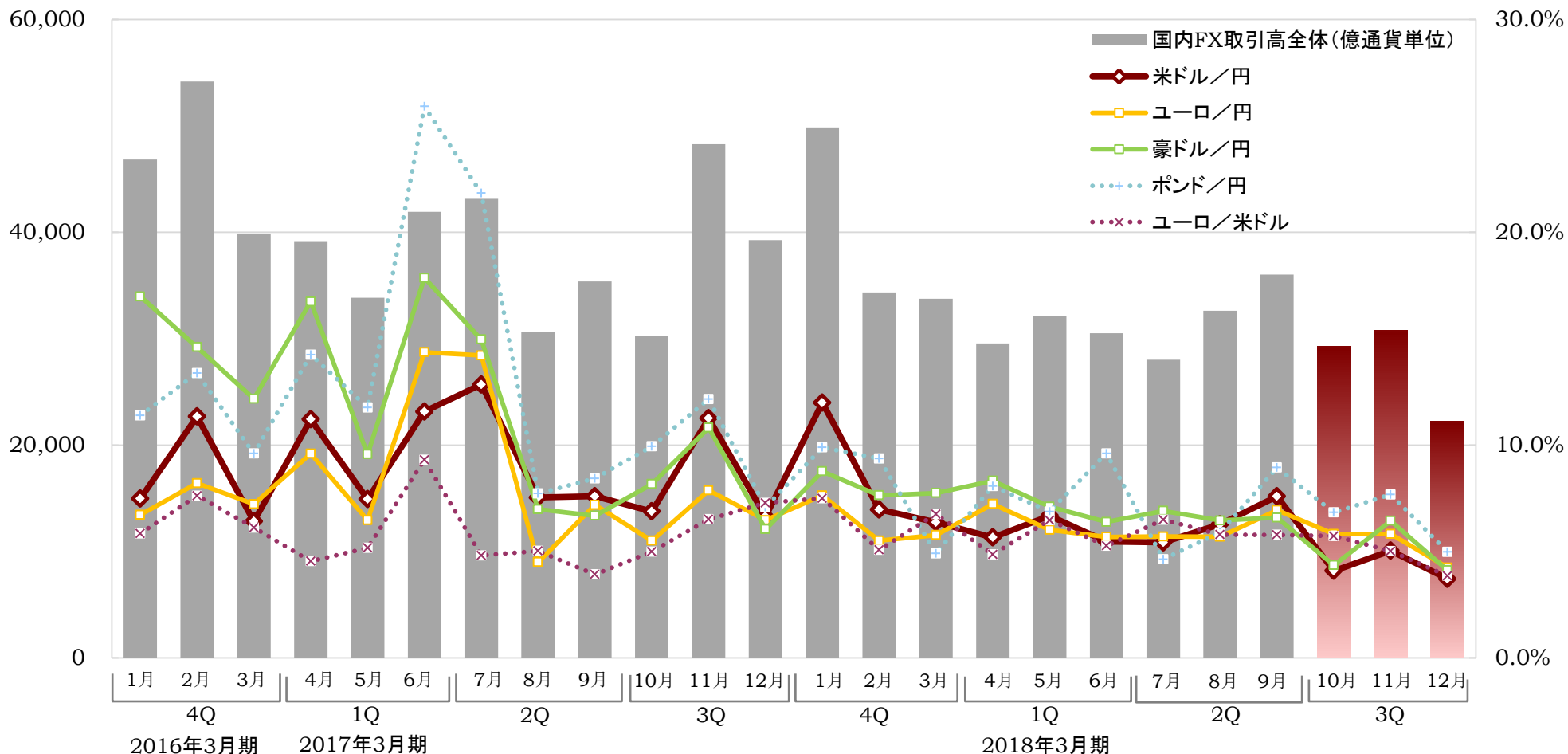


販管費



- 外国為替相場の変動率は英ポンド等一部の通貨を除き概ね低迷。当社グループ取引高シェアは微増となったものの、変動率低下の影響を受け取引高は前四半期比8.2%減少。通貨別の内訳は、米ドル/円が67%を占めた一方、主要通貨ペア以外の割合が増加。
- 各通貨ペア毎の収益性はほぼ横這いとなったものの、主要通貨ペア以外の相対的に収益性の高い通貨の取引高割合が増加。年末特殊要因による収益の底上げもあり、全体としての収益性は前四半期比向上。
- 広告宣伝費の減少等があったものの、販管費全体は前四半期比1.2%減少とほぼ横這いに。

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



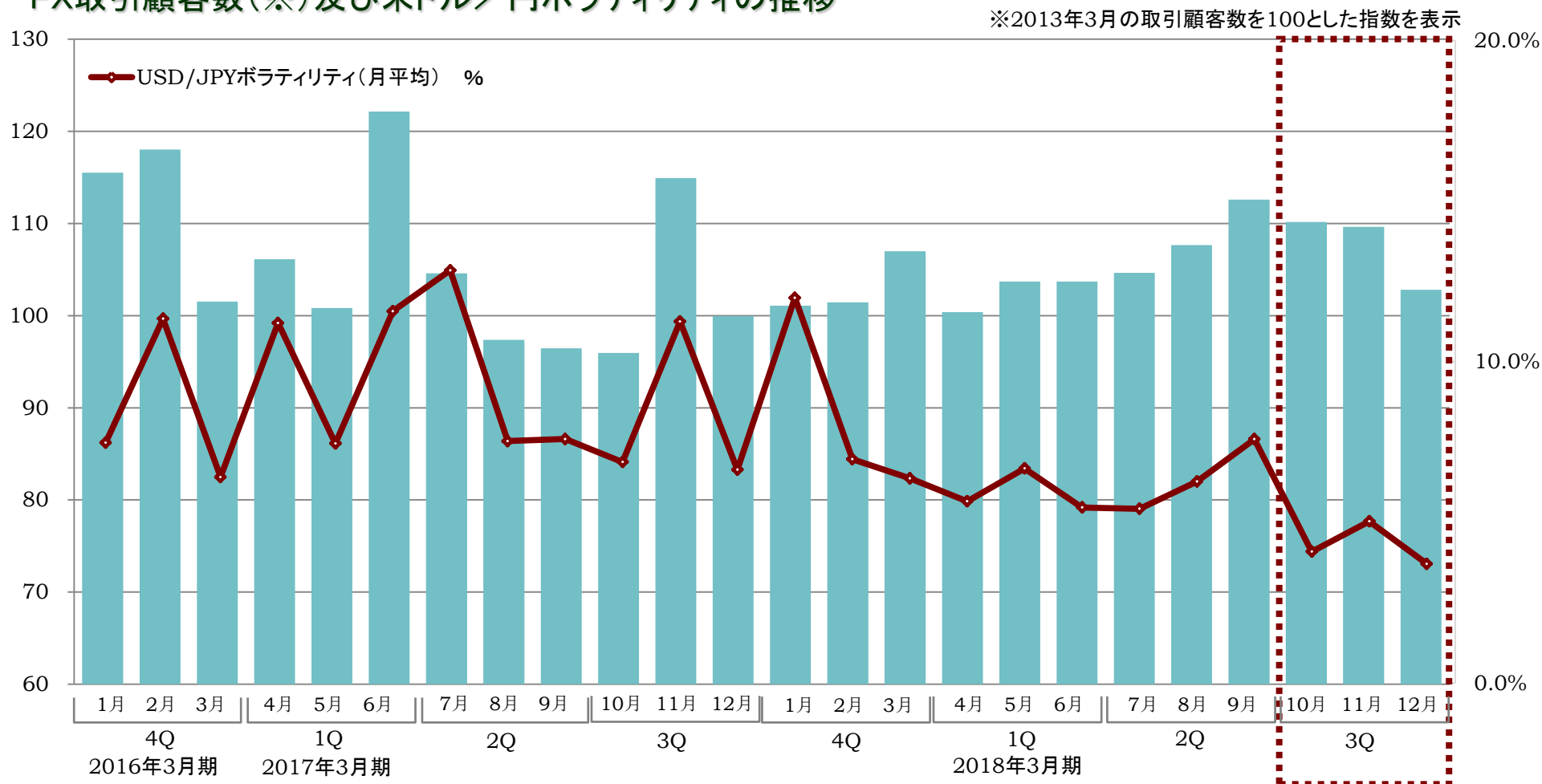
外国為替相場の変動率は、米ドル/円をはじめ総じて前四半期を下回り極めて低い水準に。
この結果、国内FX取引高は、前四半期比約16%減少し、2014年7~9月期以来の低水準に。



取引顧客数の推移

Money Partners Group

FX取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移



前四半期に続き外国為替相場の変動率低迷の影響を受け、FX取引顧客数は低調に推移するも、変動率低迷を考慮すると比較的高い水準を維持。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2016/3期			2017/3期				2018/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)			
営業収益	1,661	1,680	1,479	1,488	1,392	1,407	1,433	1,573	9.8%		
受入手数料	19	17	27	21	26	28	21	25	15.1%		
トレーディング損益	1,617	1,639	1,372	1,397	1,323	1,270	1,362	1,509	10.8%		
金融収益	4	2	4	4	9	12	18	16	▲11.2%		
その他の売上高	19	21	75	65	32	95	30	22	▲26.7%		
金融費用	27	36	36	36	38	45	44	45	1.0%		
売上原価	8	7	53	44	15	79	14	12	▲13.8%		
純営業収益	1,624	1,637	1,388	1,407	1,338	1,283	1,374	1,515	10.3%		
販売費・一般管理費	1,209	1,201	1,142	1,139	1,115	1,176	1,169	1,155	▲1.2%		
営業利益	415	435	246	267	222	106	204	360	76.2%		
経常利益	418	437	245	278	237	115	215	362	68.7%		
税金等調整前四半期純利益	406	437	245	265	230	115	215	362	68.7%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	263	299	161	178	155	74	143	247	71.7%		
営業収益経常利益率	25.2%	26.0%	16.6%	18.7%	17.0%	8.2%	15.0%	23.1%			

トレーディング損益の回復により、営業収益は5四半期振りに15億円の水準を回復。

販売費・一般管理費も抑制的に推移したことから、損益は前四半期比増益となり、営業収益経常利益率も5四半期振りに20%台を回復。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2016/3期	2017/3期				2018/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	349	299	325	355	357	388	401	387	▲3.6%
人件費	257	252	266	253	256	241	236	246	4.0%
不動産関係費	181	170	176	164	161	159	164	155	▲5.3%
事務費	281	309	235	223	215	228	237	227	▲4.1%
減価償却費	99	98	93	93	101	113	93	101	8.3%
租税公課	30	33	30	36	10	22	23	28	19.3%
貸倒引当金繰入れ	▲0	0	▲0	—	—	—	—	—	—
その他	10	38	13	13	14	22	12	8	▲27.7%
販売費・一般管理費合計	1,209	1,201	1,142	1,139	1,115	1,176	1,169	1,155	▲1.2%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	105	106	122	160	154	170	153	141	▲7.8%
システム関連費用(※2)	385	396	335	327	316	316	339	327	▲3.7%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増減要因(前四半期との比較)>

取引関係費(減少) : 広告宣伝費の減少により減少

人件費(増加) : 賞与引当金繰入れ等の業績連動型の費用が増加

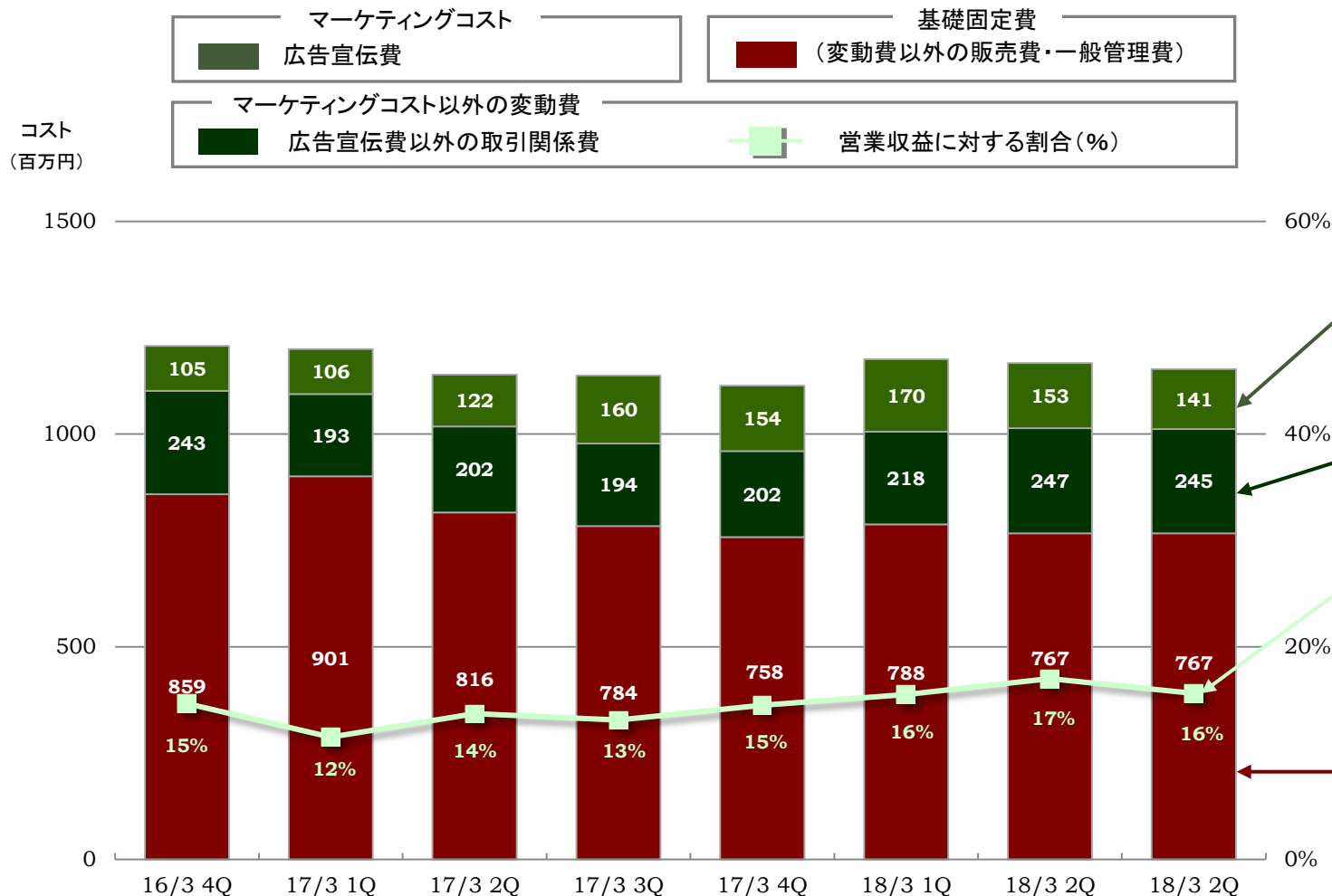
減価償却費(増加) : 次期基幹システム開発のためのインフラ資産の取得等に伴い増加



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



マネパカードの新規獲得数増加のためブランディング活動を強化しており、2018/3期4Qは130～180百万円程度の水準を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率等、様々な要因により変動いたしますが、2018/3期4Q以降も概ね10%台後半の水準を見込んでおります。

2018/3期4Q以降も、概ね2017/3期と同程度の水準での推移を見込んでおります。但し、一部変動費的性格のものが含まれており、営業収益の増減により、基礎固定費にも増減が生じる可能性があります。

2018年3月期第3四半期は、広告宣伝費が減少した他、ほぼ前四半期と同様の固定費・変動費の構成に。2018年3月期第4四半期以降も当面大きな変動は生じない見込み。



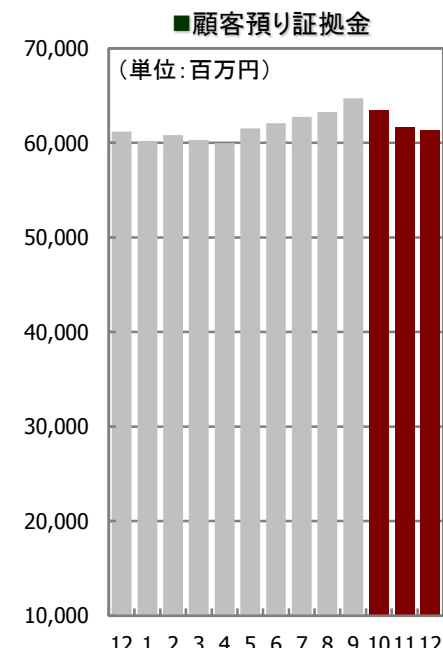
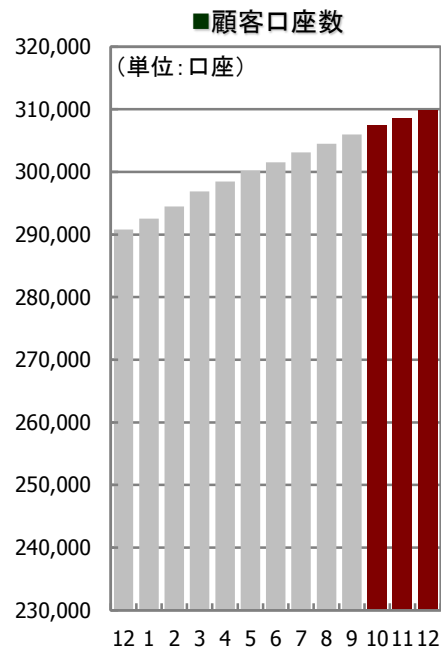
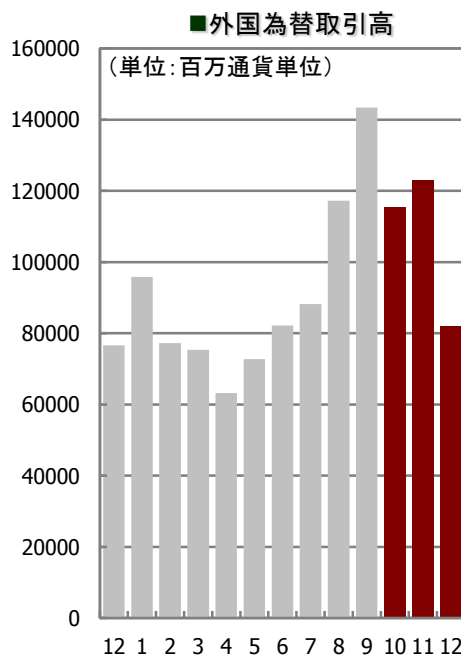
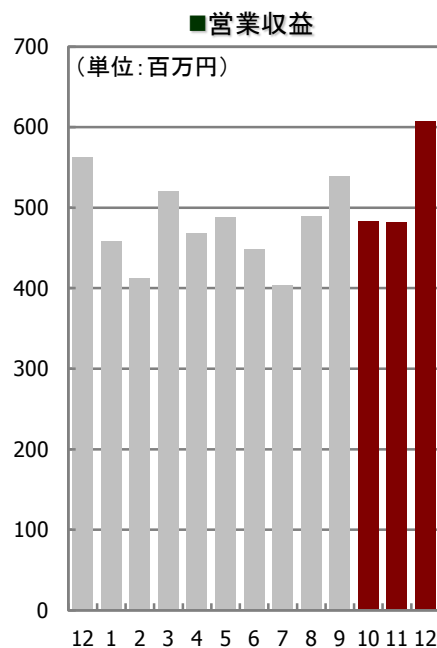
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2016年		2017年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	563	458	412	521	469	488	449	404	489	539	483	482	607
外国為替取引高 (百万通貨単位)	76,584	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853
顧客口座数(口座)	290,820	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873
顧客預り証拠金(百万円)	61,201	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378
内、BtoB先金融法人	12,000	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



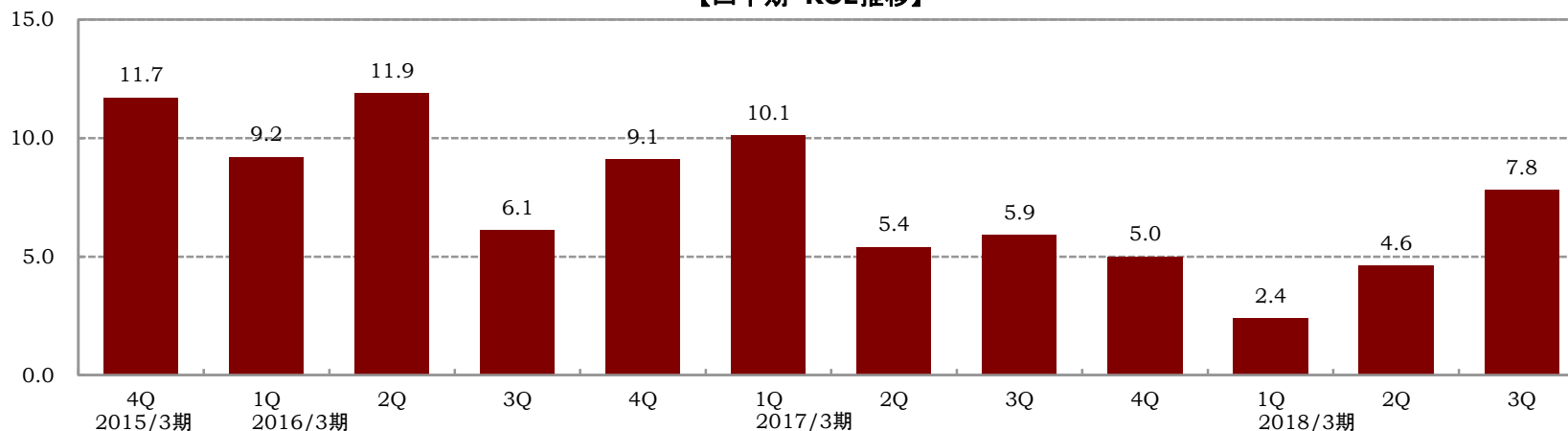


主要経営指標推移

Money Partners Group

■ ROE及び営業収益経常利益率推移

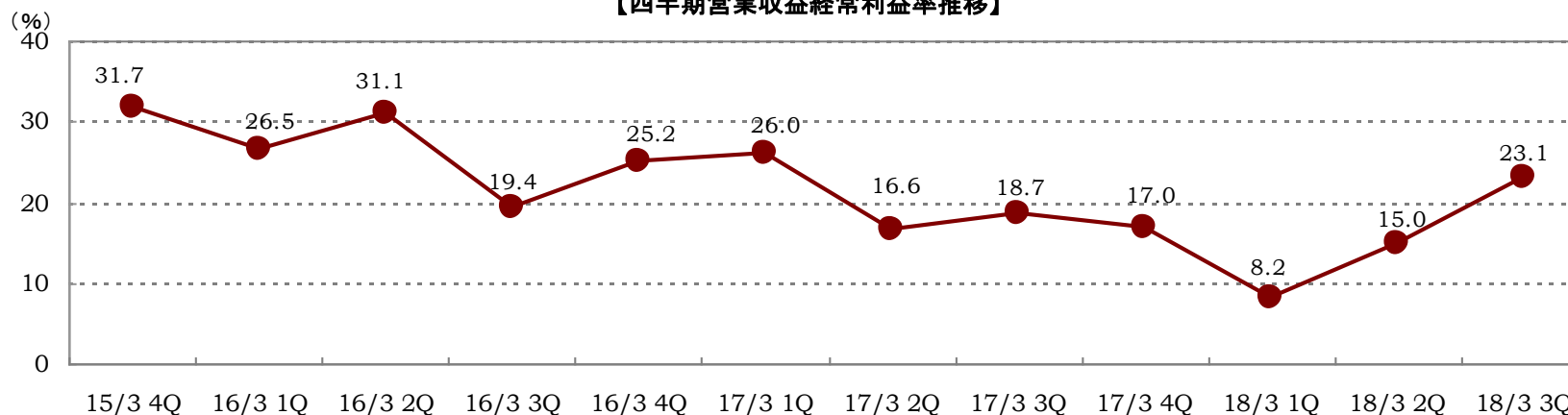
【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

$$ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2018年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況





当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性の継続的改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

FX

顧客満足度No.1

2018年オリコン顧客満足度ランキング「FX取引」において2年連続で第1位 を獲得しました。



7項目からなる評価項目においても「取引のしやすさ」で1位を獲得したほか、「システムの安定性」など4つの項目において2位を獲得しました。

約定力No.1

矢野経済研究所が実施したFX会社大手7社におけるFXサービスパフォーマンステストにおいて、9年連続で「すべらない約定率^{*}」第1位となりました。

※スリッページや約定拒否が発生せずに注文した通りのレートで約定する割合



高品質なFXサービス



重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

FX

小口FX「現受け」サービス

最小100通貨より保有可能な“パートナーズFXnano”の外貨買いポジションを、現引き（外貨としてFX口座に入金）することが可能になりました。

(FX口座に入金された外貨は、銀行送金での受取や、マネパカードへのチャージ等によってご利用頂けます。)



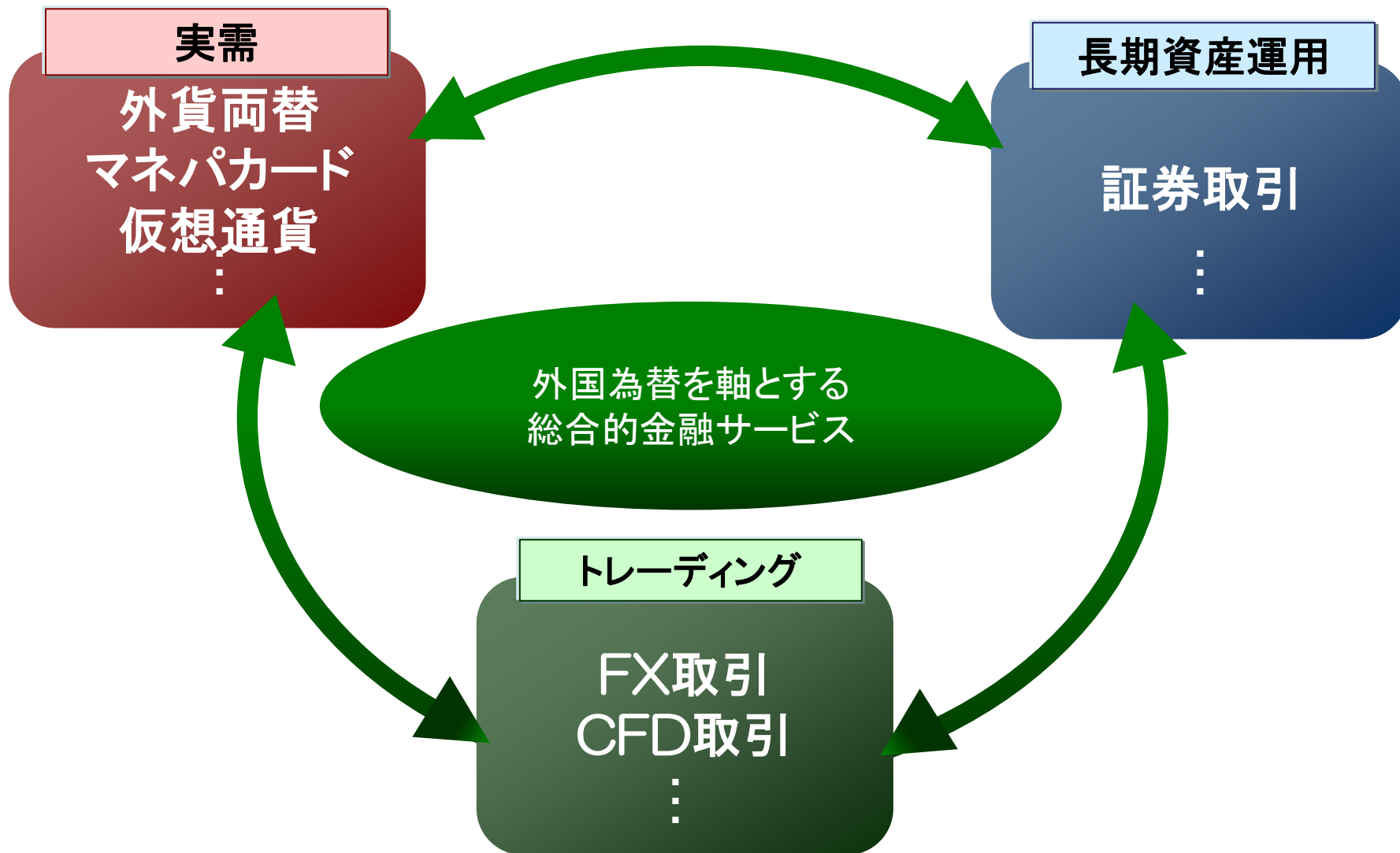
フィンテック

「Amazon Alexa」対応音声による為替レート配信サービス開始



Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2018年3月期第3四半期(2017年10～12月)のROEは7.8%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

$ROE(\text{年換算}) = (\text{四半期純利益} \times 4) \div ((\text{四半期期首自己資本} + \text{四半期期末自己資本}) \div 2) \times 100$

▶ **2018年3月期第3四半期(2017年10～12月)の営業収益経常利益率は23.1%**



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末** (年2回)

	2017年3月期				2018年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	299	161	178	155	74	143	247	
上段: 3ヶ月	299	460	639	794	74	218	465	
下段: 累計								
配当金の総額 (百万円)	130		130		81			
期末発行済 株式総数(株)	33,763,500 (内、自己株式1,202,300)		33,772,900 (内、自己株式1,202,300)		33,779,900 (内、自己株式1,202,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	4.0円		4.0円		2.5円		
	年間	8.0円						



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、取引の額の4%の額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2018年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ